年金が危ない！

年金審議会が総括的審議に入る

政府は一九九五年からの年金制度抜本改悪に向け、来年の通常国会で法案を通そうと、着々と準備を進めています。

すでに、年金制度の見直しを検討している年金審議会（厚相の諮問機関）は七月九日、全員懇談会を開いて今秋の答申提出に向けて「総括的」な審議に入りました。

改革でなく改悪

一九八五、八九年に次ぐ今回の第三次改悪の内容は、①支給開始年齢の六十五歳への引き延ばし、②保険料・掛け金の引き上げ、③給付額の再引き下げ、④スライド制の改悪――などです。

支給開始年齢の引き上げは、一九四六年以降生まれの四十六歳以下の人について現行の六十歳を六十五歳にしようとするものです。実施されれば、国公共済年金の場合、一人約千二百万円も損をする計算です。このように年金問題は若年層を含む全労働者、国民の問題なのです。

保険料は、八〇～九一年に共済年金八四%、厚生年金男子三七%、同女子五九%、国民年金一四〇%も上げられました。一方、賃上げの方はこの間にわずか一四・四%アップに過ぎません。それなのに政府は二〇一五年までにさらに二倍に引き上げようとしています。

年金給付額は八五年に一度水準が改悪されているのに、さらに実質一〇～一五%もの引き動げが考えられています。

物価スライドでは、受給者の上位三〇%についてスライドのストップが検討されています。

現在は六人で一人の高齢者を支えていて、二〇二五年には二人で一人をみることになるという「高齢化社会危機」論は、大きなごまかしです。扶養、被扶養の関係は生産年齢人口（二十～六十四歳）対高齢者人口（六十五歳以上）ではなく、総人口対就業者数の比率で見るべきです。この比率は現在も将来もほとんど変わらないのです。

たたかいはすでに

ヤマ場の一つは今秋の年金審議会の答申です。通常国会に向けて政府が答申を受けて法案作成準備に入る秋口までが改悪阻止、要求（①公的年金支給開始年齢六十歳、②国庫負担を増額し労使の負担割合を三対七にする、③最低保障年金の創設、など）の反映のための運動の一つの節目となります。年金改革のたたかいはすでに始まっているのです。

地域振興の願いを込めて、夏まつりの花火大会が諏訪公園で開かれ、七千発が打ち上げられた。

順風 逆風

「悪魔の辞典」

大阪府立四條畷（しじょうなわて）高校の生徒たちが「悪魔の辞典」を作った。

【黒海】真っ黒なうずを巻いている海。東京にある。「国会」とも書く。

【溝】現在、日本政府と国民の間に存在しているもの。なかなか辛らつだ。

◎

新生党の代表幹事・小沢一郎氏が『日本改造計画』なる本を出した。どう改造するのか。

〈できるだけ大規模に政治を改革するということならば、単純小選挙区制を導入するのが最もよい〉

自民党と新生党で議席を〝占拠〟しようというわけですか。

そして、憲法改正、自衛隊の大規模な海外派兵。

〈現在の憲法でも、自衛隊を国連待機軍として国連に提供し、海外の現地で活動させることができる〉

〈ただ、現行憲法には国際環境への対応に関する明確な規定がない。……この論議に決着をつけるために、私は二つの案を持っている。一つは、憲法第九条に新たに「第三項」を付け加える案である〉

〈もう一つの案として、憲法はそのままにして、平和安全保障基本法をつくることも考えられる〉

明文改憲か解釈改憲かというだけで、いずれにしろ憲法改悪に変わりはない。いったい自民党とどこが違うのだろうか。

◎

先の「悪魔の辞典」。

【政治家】いずれもすばらしい秀才ばかりだが、こと戦争放棄に関する憲法の条文の解読力は無力な人。

「特に小沢一郎氏は」とつけ加えておこう。

労働歳時記

組合への期待

○…東京都立労働研究所がまとめた「転換期における労働組合の役割」が興味深い。組合への期待度について、組合役員の評価は低いが、組合員や市民は逆に組合に期待を寄せ、ギャップをみせている。

○…調査対象は組合員を含む都民約二千五百人と組合役員二百五十三人。それによると、組合役員は、各階層とも組合への期待度は低いと回答している。ところが、組合員や市民は「労働条件の向上」「働き過ぎの規制」「高齢化社会への取り組み」などでプラス評価を与えている。いわば、組合幹部は、組合員や市民の組合への期待を過小評価しているわけである。

○…ナショナルセンター別では、連合組合の役員は、組合員を含め各階層で組合への期待度はマイナスと答え、総じて悲観的だ。一方、全労連は、組合員と中高年層で期待されていると評価し、ギャップをみせる。

○…組合員が組合のメリットを感じるのは、賃金・労働時間の改善（六四%）が第一位。「新しい人間関係」（二一%）など働く仲間の連帯効果もうまれている。また、組合を実感する時は、「春闘」（五八%）、「労働条件がよくなった時」（五六%）、「ビラ活動」（三七%）、「スト」（二六%）と続く。

○…他方、組合の政治活動については、組合員、市民とも期待度は低く、「政党からの自由」（三一%）もあげられている。

○…春闘、雇用、年金など転換期の労働運動。その活路は、組合員や市民の期待に応える運動という、ごく当たり前のことを新鮮にも再提起した調査である。

書記さんが変わります

六年五カ月勤務された近藤啓子さんが一身上の理由で七月末で退職されます。変わって宮原せい子さんが新たに書記の任務につきます。なれるまでしばらくかかると思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

物資（そうめん）もうすぐ完売

活動資金づくりのために、今年も六月初旬から「島原手延べそうめん」の販売に取り組んで来ましたが、幸い多くの皆さんのご協力をいただき完売まであと少しとなりました。ありがとうございました。取り扱いは七月末日まで。

囲碁大会成績

七月四日（日）に催された三池労組囲碁愛好会の大会での成績は次のとおりでした。

【A組】

優勝　井口　勝吉さん（O　B）
二位　猿渡　章博さん（5分会）
三位　久保田睦男さん（1分会）

【B組】

優勝　北島　清治さん（O　B）
二位　秋富　学さん（3分会）
三位　大野　源六さん（2分会）

敬弔

石田勝一さん（三分会・坑外特務、五十三歳）昨年九月いらい入院加療中でしたが七月十日、脳内出血のため大牟田市立病院で死去。遺族は大牟田市小浜南社宅二十三棟に妻ユク子さん。

心から哀悼の意を捧げ、ご冥福をお祈り致します。

投稿歓迎

ご意見や感想、なんでも結構です。とくに現場での作業、保安に関することなどを。

政治献金、新保守勢力にも

財界四団体　政界再編へ「保険」

財界四団体は総選挙公示前の七月一日、新生党や日本新党などの新保守勢力に対しても献金すると発表しましたが、自民党の一党体制の崩壊と政界再編成を見越した「保険」との見方もあります。これに対して、新党側は厳しい台所事情を反映して「現在の政治状況に見合った判断だ」（日本新党）と一様に歓迎する姿勢を示しました。

リクルート、佐川、そして今回のゼネコン汚職にみられるように、企業献金は政治家と企業の癒着構造を作り、戦後政治の贈収賄事件を生む温床となってきました。今回の財界四団体の合意は、自民党一党支配が終わることを見越して、これまでの主要な献金相手を自民党から新保守勢力全体に広げるもので、政治家と企業・財界との癒着構造を拡大・再編することになります。

財界や自民党は「企業も社会的存在である」として献金を正当化する。しかし、このほど明らかになった林蔵相や中村建設相による監督業界への献金の申し入れなどは「汚職すれすれの違法性の強い行為」（朝日新聞）であり、銀行業界から自民党への百億円単位の融資は「預金者への背信」といえます。

企業からの献金を歓迎する新党は、こうした自民党的な癒着構造を引き継ぐことになり国民の批判は避けられないでしょう。

マスコミ・レーダー

総選挙の争点を どうとらえたか

総選挙の争点を新聞はどう見ているのでしょうか。公示日（七月四日）の《総選挙きょう公示》の記事によると、〈自民党中心の政権が維持されるか、非自民の連立政権が誕生するかが最大の焦点〉（毎日）といった点で共通しています。

果たしてそれが「焦点」だったでしょうか。たとえ形では自民党一党支配がくずれたとしても、①は自民党中心の連立、②非自民の連立、のいずれかの選択であり、中心になるのが〝第二自民党〟で、自民党政府の政策を「継承」する連立政府では「自民党なき自民党政府」に過ぎないことになります。

評論家の佐高信氏が言っています。

〈問題は既存の政党か新党かではなく、たとえば企業献金の廃止といった古くて新しいテーマを明確に打ち出しているかどうかではないのか〉〈企業献金の廃止は、改革派か反改革派かを分ける、非常にわかりやすい目印となる〉（毎日七月五日）――と。

また、選挙の形態・方法が従来とどう違ったのか、それも重要な視点ではなかったか。